全教 豊中教職員組合

とよなか

（部内資料）

教え子を再び戦場に送るな！　2015年５月２９日発行ＮＯ．５４４

〒561―0874
豊中市長興寺南3―5―2
TEL（06）6865―3190　FAX（06）6865-3191
Eメール　zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp
Webページ
http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

子ども達の豊かな成長・発達のために皆で力を合わせましょう！

２０１６年度政府予算に向けた文科省への要請署名です。

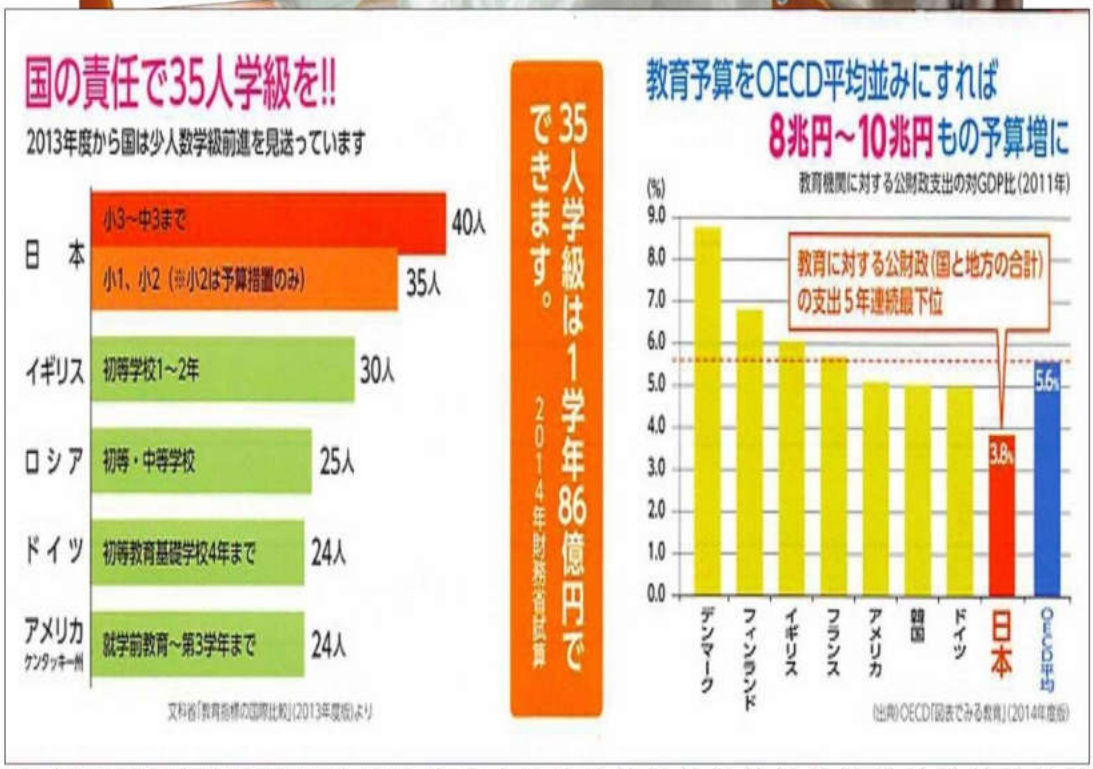
国の責任による35人以下学級は、小学校１・２年生に広がったものの、小学校３年生以降へ前進は見られません。

安倍首相も鋭意努力と答弁！

今、豊中を含む多くの自治体で独自施策をすすめてきています。が、自治体によって、格差が生じてきています。

２月の衆議院予算委員会で安倍首相は「35人学級の実現に向けて鋭意努力をしていきたい」と答弁しました。

この答弁に沿って、小学校３年生以降の35人以下学級に着手するように、教職員・国民の大きな声をさらにひろげていきましょう。



署名へのご協力お願いします！

教え子を戦場に送らない

安倍さんのキケンな戦争立法の中身！（安保法制）

戦地派遣命令
「無法」な戦争でも拒否したら懲役

自衛隊法は、防衛出動命令が下った時、命令に従わなかった場合、7年以下の懲役・禁固に処すると定めています。隊員本人だけでなく、教唆・幇助した者にも刑事罰が課せられます。

これまでは「防衛出動命令」が出されるのは、日本に対する武力攻撃が発生した場合に限られていました。しかし、今回の安保法制は、日本が武力攻撃されていないのに集団的自衛権を行使して海外での戦争に参加する場合（「存立危機事態」）も「我が国を防衛する」活動に含めようとしています。

「イラク戦争は道義的に過ちであるばかりでなく、合衆国の法をも手荒く侵害する行為」、「この戦争に参加すれば、私自身が戦争犯罪の片棒を担ぐことになる」としてイラクへの派遣命令を拒否した米陸軍のワタダ中尉は、逮捕され軍法会議にかけられました。

安保法制が成立すれば、日本でも同じようなことが起こりかねません。母親が自衛官の息子に戦地派遣命令を拒否するように説得した場合も、「教唆・幇助」で逮捕される可能性があります。

新任のみなさんへ　先輩教師からのメッセージ
信頼関係を築く　子どもと仲良く

北村　建一（東豊中小学校）

気がつけば私も教師として13年目となりましたが、1年目の先生たちに立派なメッセージを送れるような存在になったのかなあと言えば、全然そうではありません。今でもわからないことだらけで、自分の授業のスタイルが確立しているかと言えば、まったくそうでもありません。

初任の頃は、十年以上も教師をしていれば、自分もさぞかし立派な教師になっているのだろうと思っていました。

しかし、実際はいつまでたっても日々勉強で、子どもからいろいろなことを学び、いつまでたっても失敗をして成長していくのだと実感しています。

そのような私でも、教師生活をする上でとても大切なことを感じることがあります。それは、信頼関係を築くということです。子どもたちと、まず仲良くなることが一番です。とにかく遊び、話し、子どもたちと同じ目線で生活することが大切です。

子どもにきっちりということをきかせなければならないという気持ちもあり、もちろんきっちりいうことをきかせることは大切だと思いますが、何よりも、子どもたちが、先生と共に生活して楽しいと思えることがすべてだと思います。

そして、そのような中で子どもたちは学んでいくのだと思います。

そうすれば、普通に子どもも一人の人間ですからいうことをきいてくれます。

もちろん、すべてのこどもがそうではありませんが、私自身、子どもとそのように接することができたとき、クラスはうまくいったように感じます。そういう意味で、若いということは素晴らしいです。子どもたちとにかく仲良くなること、そして、自分自身も楽しく暮らすということを胸に、頑張ってください。